

平成24年度(2012年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)

### 日本語文化専攻論述試験問題

次の指示に従って、下記の問題(1~18)から文化系講座は2題、言語・教育系講座は4題を選び、日本語で解答しなさい。解答すべき問題の選択方法は志望講座により異なるので、注意すること。

#### I. 文化系講座

(1) 第1志望と第2志望が【日本語文化学講座】または【比較日本文化学講座】の場合

【文化系講座共通問題】1~6から2題選択すること。

(2) 第1志望が【日本語文化学講座】または【比較日本文化学講座】で、第2志望の講座がない場合

【文化系講座共通問題】1~6から2題選択すること。

#### II. 言語・教育系講座

(1) 第1志望と第2志望が【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の場合

【言語・教育系講座の問題】7~18から4題選択すること。ただし、

- ・第1志望講座の問題から少なくとも2題選択すること。
- ・第2志望講座の問題から少なくとも1題選択すること。
- ・残りの1題は【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の問題から自由に選択してよい。

(2) 第1志望が【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】で、第2志望の講座がない場合

【言語・教育系講座の問題】7~18から4題選択すること。ただし、

- ・第1志望講座の問題を3題選択すること。
- ・残りの1題は【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の問題から自由に選択してよい。

I. 【文化系講座共通問題】 1～6

【日本語文化学講座】 および 【比較日本文化学講座】 の問題 1～6

1. 歴史と物語の関係について自分の考えを述べよ。
2. 国、時代によって異なる文化意識がある。例えば、「清潔」を考えても、その捉え方は様々である。この「清潔」について具体例を示しながら論ぜよ。
3. 書物の電子化が進んでいる。どこでも端末にダウンロードして様々な分野の書物を即時に読めるのは便利だが、書物の読み方、扱い方に変化はないだろうか。あると考えるにせよ、ないと考えるにせよ、自分の立場を明確にして論ぜよ。
4. 以下の文章は、明治時代の啓蒙思想家、福沢諭吉と中江兆民の文明観を比較したものである。これを読んで、二人の文明観の違いを、東アジアの近代化の問題と関連づけて論述せよ。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者から許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(松永昌三著『福沢諭吉と中江兆民』中公新書、2001年、212-3頁)

5. 茨木のり子作「知」（『人名詩集』、山梨シルクセンター出版部、1971年、62-4頁）  
を読んで、作者の考える知とは何かを考察したうえで、あなたはどのように知を定義する  
のか、記せ。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者から許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

6. 三井秀樹は、『かたちの日本美：和のデザイン学』（日本放送出版協会、2008年、180頁）の中で、「日本文化における美」について次のように記述している。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者から許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

日本人の美意識に関するこのような言説についてあなたの考えを具体的に述べよ。

II. 【言語・教育系講座の問題】 7～18

【応用言語学講座の問題】 7, 8, 9

7. 下記の用語から3項目を選択して、それぞれの概要について説明せよ。各々の説明の前に選択した項目の番号を記せ。
- (1) 母語干渉
  - (2) 主題
  - (3) 尊敬語
  - (4) 普遍文法
  - (5) 間接発話行為
8. 下記の例文を読んで、(1)(2)の2問について解答せよ。
- (a) これは社長のかばんです。
  - (b) これは社長のです。
  - (c) 社長の金山です。
- (1) 上記(a)(b)(c)の「の」は同じ品詞であろうか、あるいは異なる品詞であろうか。日本語の事実に即して説明せよ。
  - (2) あなたの知っている日本語以外の言語を一つ選び、その言語において(a)(b)(c)の「の」に相当する形式は、同じ形態を有するか否かを具体的な例文とともに説明せよ。
9. 「日本語には時制がない」という考え方に対するあなたの見解を、例文に基づいて説明せよ。

【日本語教育学講座の問題】 10, 11, 12

10. 日本語のドラマや小説には、「これがわしの発明したタイムマシンじゃ」(博士語)、「あら、あなたってお優しい方なのね」(お嬢様語)、「きみ、この書類を明日までに仕上げておいてくれたまえ」(上司語)のように登場人物の属性を特徴的に表した役割語が現れる。このような役割語を日本語教育で教えることの是非について論ぜよ。

11. 下記の例文を参考にして、(1) から (4) の 4 問について解答せよ。

A. 日本語

- a. その本を買った人は健だった。
- b. 健が買った本はおもしろかった。
- c. 健が本を買った店は人気があった。

B. 英語

- a. The person that bought the book was Ken.
- b. The book that Ken bought was interesting.
- c. The store that Ken bought the book at was popular.

- (1) 上記の a から c のタイプの名詞修飾節は日本語と英語に共通して見られるが、それぞれのタイプはどのように区別されるかを簡潔に説明せよ。
- (2) 上記の例文に見られる日本語と英語の名詞修飾節の違いを簡潔に述べよ。
- (3) 日本語にはさらに以下 d のような（英語には存在しない）タイプが存在するが、上記の三タイプとどう異なっているかを簡潔に説明せよ。

- d. ・ 健が本を買ったおつりは 20 円だった。  
・ サンマを焼くにおいがした。

- (4) 第二言語としての英語習得研究では、名詞修飾節の習得は a タイプ → b タイプ → c タイプの順序で進むことがわかっているが、第二言語としての日本語習得研究では、この三タイプ間の習得順序について研究間で一致した結果が得られておらず、結論は出ていない。なぜ日本語と英語でこのような違いが現れるのかを、日本語には上記 d タイプが存在することも考慮して推測せよ。

12. 日本語学習者が日本語の語の意味を母語の訳語と対応させて理解しても、その語の意味の十分な習得には至らないことが多い。そのような理解の問題点を、具体的な語例を挙げて、「類義語」「多義語」「百科事典的意味」の観点から説明せよ。

【現代日本語学講座の問題】 13, 14, 15

13. 以下の(1)から(6)の例文を参考にして、現代日本語の「ひかえる」の複数の意味を記述せよ。さらに、「ひかえる」の複数の意味の関係を説明せよ。
- (1) 最近、体調がよくないので、アルコールをひかえている。
  - (2) ベンチにひかえている選手の中にも優れた選手が何人もいる。
  - (3) 大臣の身边に護衛がひかえている。
  - (4) 故郷の村の背後には山がひかえている。
  - (5) 選手たちは大事な試合を明日にひかえている。
  - (6) 忘れないように、会議の日時を手帳にひかえた。
14. 日本語の動詞のタ形（例：食べる→食べた）の諸用法について、具体例をあげて説明せよ。
15. 日本語のヤ行子音とワ行子音の音声的特徴を述べ、これらの音が半母音に分類される理由について説明せよ。その上で、日本語学習者の音声的実現としてどのような「誤り」が起こる可能性があるか論ぜよ。

【日本語教育方法論講座の問題】 16, 17, 18

16. 学習者の習得レベルを調べるための「テストを用いない評価」の例として、Can-do statements、ポートフォリオ、バンド・スケールなどがある。それぞれの利用方法とその利点、問題点を具体例を示しながら述べよ。
17. これまで学習ストラテジー研究の資料収集においては、以下のような手法が採られてきた。これらの手法から2つを選択し、それらはどのような手法であることを説明し、それぞれの資料収集方法の長所、短所を述べよ。各々の説明の前に選択した項目の番号を記せ。
- (1) 再生刺激法
  - (2) 参与観察
  - (3) アンケート法
  - (4) 発話思考法
  - (5) ジャーナル
  - (6) 回想法

18. 初級の日本語会話の授業で、効果的な利用が期待される媒体・システムを下から2つ選択し、それぞれどのように利用することができるかを述べよ。各々の説明の前に選択した項目の番号を記せ。

- (1) インターネット
- (2) チャット
- (3) スカイプ
- (4) 携帯電話
- (5) アイポッド
- (6) アイパッド